

|     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 1.  | ③ | 11. | ④ | 21. | ① | 31. | ① | 41. | ① |
| 2.  | ① | 12. | ④ | 22. | ③ | 32. | ② | 42. | ① |
| 3.  | ② | 13. | ① | 23. | ③ | 33. | ④ | 43. | ④ |
| 4.  | ③ | 14. | ② | 24. | ③ | 34. | ① | 44. | ④ |
| 5.  | ④ | 15. | ② | 25. | ① | 35. | ③ | 45. | ③ |
| 6.  | ③ | 16. | ④ | 26. | ① | 36. | ④ | 46. | ③ |
| 7.  | ④ | 17. | ④ | 27. | ② | 37. | ③ | 47. | ① |
| 8.  | ④ | 18. | ③ | 28. | ① | 38. | ③ | 48. | ② |
| 9.  | ③ | 19. | ② | 29. | ① | 39. | ④ | 49. | ① |
| 10. | ① | 20. | ③ | 30. | ④ | 40. | ① | 50. | ④ |

1.

解答 ③

## 【解説】

正解は③「もう一つ～、もう一人～」です。「one more」で「もう一つ」という意味になり、後ろに名詞を続けることで「もう一つ（一人）の～」と追加を表すことができます。「Could I have one more cup of coffee?」（コーヒーをもう一杯いただけますか？）のように使います。①、②、④はそれぞれ異なる意味の表現です。

◆補足：「once more」や「one more time」で「もう一度」という意味になります。何かをもう一度お願いするときなどに使える便利なフレーズです。

2.

解答 ①

## 【解説】

正解は①「dream」です。dream は、睡眠中に人の心に起こる一連の思考、イメージ、感覚です。また、大切な野心や理想を意味することもあります。例えば、「My dream is to be a pilot.」（私の夢はパイロットになることです）。②「drum」はドラム、③「drama」はドラマ、④「draw」は描くという動詞です。

◆補足：動詞として、dream は「夢を見る」を意味します。例：「I dreamed about you last night.」（昨夜、あなたの夢を見ました）。

3.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②の **rock** で、大きくて動かせないような「岩、岩石」を指します。stone も「石」と訳しますが、こちらは手で持てるくらいの、比較的小さな石を指すことが多いです。The house was built on a huge rock. (その家は巨大な岩の上に建てられた) のように使います。①sand は「砂」、③soil は「土、土壌」です。

◆補足：音楽のジャンルである「ロック」も **rock** ですが、これは **rock and roll** (揺れて転がる) という言葉から来ています。また、動詞としては「～を揺らす」という意味があります。Don't rock the boat. (ボートを揺らすな)。

---

4.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「～の一部」です。この表現は、「全体の一片または一部分」を意味します。例えば、「Fukuyama is a part of Hiroshima Prefecture.」(福山は広島県の一部です)。①「～とは別に」は apart from、②「～のほとんど」は most of、④「～の頂上」は the top of です。

◆補足：take part in ～という表現は「～に参加する」を意味します。

---

5.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「**clean**」です。「～をきれいにする、掃除する」という意味の基本的な動詞です。「Let's clean our room.」(私たちの部屋を掃除しましょう。) ①「**close**」は「～を閉める」、②「**climb**」は「～に登る」、③「**collect**」は「～を集める」という意味です。

◆補足：**clean** は形容詞として「きれいな、清潔な」という意味でも使われます。反対の言葉は **dirty** (汚い) です。動詞と形容詞、両方の使い方を覚えておきましょう。

---

6.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「**alive**」です。「生きている、死んでいない」という意味の形容詞です。通常、「He is still alive.」(彼はまだ生きている) のように動詞の後に使われます。①「**live**」は動詞形(生きる)です。②「**leave**」は去る、④「**arrive**」は到着する、を意味します。

◆補足：重要な違い：alive は通常、名詞や動詞の後に使われます（「The man is alive」）、一方 living は名詞の前に使えます（「a living thing」 - 生き物）。

---

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「office」です。日本語の「オフィス」と同じで、会社などの「事務所」や「仕事場」を指します。「My father works in an office.」（私の父は事務所で働いています。）①「officer」は「役人、警官」、②「official」は形容詞で「公式の」、③「offer」は「申し出」という意味です。

◆補足：「郵便局」は post office、「市役所」は city office と言います。「office worker」で「会社員」という意味になります。

---

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「grandparent」です。この単語は、父または母の親、つまり祖父または祖母を意味します。parent と同様に、両方を指す場合は複数形の grandparents を使います。①「grandchild」は孫、②「parent」は親、③「relative」は親戚を意味します。

◆補足：接頭辞の“grand-”は世代の隔たりを示すために使われます。例えば、great-grandparent はひいおじいさんやひいおばあさんを意味します。

---

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「forest」です。forest は、木々や他の植物で覆われた広大な土地です。例えば、「Many kinds of animals live in the forest.」（多くの種類の動物が森に住んでいます）。①「dessert」はデザート、②「harvest」は収穫、④「honest」は正直なという意味の形容詞です。

◆補足：より小さな木々の地域はしばしば woods と呼ばれます。rainforest は熱帯雨林です。

---

10.

解答 ①

### 【解説】

正解は①「A だけでなく B も」です。この構文は、二つの関連する情報を提示するために使われ、二つ目の情報(B)に重点が置かれます。例えば、「She is not only a great singer but also a wonderful actress.」(彼女は偉大な歌手であるだけでなく、素晴らしい女優でもある)。②は either A or B、③は both A and B、④は neither A nor B です。

◆補足：しばしば、特にインフォーマルな会話では also が省略されることがあります：「not only A but B」。

---

11.

解答 ④

### 【解説】

正解は④「section」です。全体をいくつかに分けたうちの一つの「部分、区域」を指します。お店では、特定の商品が置かれている「売場、コーナー」という意味でよく使われます。「You can find bread in the bakery section.」(パンはベーカリー売場にあります。) ①「station」は「駅」、②「season」は「季節」、③「selection」は「選択」です。

◆補足：新聞や雑誌の「欄」や、文章の「節」という意味でも使われます。a non-smoking section で「禁煙区域」となります。

---

12.

解答 ④

### 【解説】

正解は④の British で、「イギリスの」または「イギリス人」を意味する形容詞・名詞です。前の問題で出てきた the UK の形容詞形ですね。The British Museum is very famous. (大英博物館はとても有名です) のように使います。①English は主に「イングランドの」や「英語」を指し、British よりも狭い範囲を表します。②American は「アメリカの」、③French は「フランスの」です。

◆補足：the を付けて the British とすると、「イギリス国民」全体を表します。また、イギリスで話されている英語は British English と呼ばれ、アメリカ英語 (American English) とは単語や発音にいくつか違いがあります。

---

13.

解答 ①

### 【解説】

正解は①「肩」です。shoulder は、首の付け根から腕の上部にかけての部分指します。My shoulders feel stiff. (肩が凝っています) のように使います。②「ひじ」は elbow、③「ひざ」は

knee、④「首」は neck です。体の部分を表す単語は、実際に自分の体を指しながら覚えると記憶に残りやすいですよ。

◆補足：肩は左右に一つずつあるので、shoulders と複数形で使われることがよくあります。「肩をすくめる」というジェスチャーは shrug one's shoulders と言います。また、shoulder bag（ショルダーバッグ）のように、他の単語と組み合わせることも多いです。

---

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「いくつかの」です。「several」は、少数よりは多いが、たくさんではない数の人々や物事を指すために使われます。例えば、「I called him several times, but he didn't answer.」（私は彼に数回電話したが、彼は出なかった）。他の選択肢はより多い量を表します。

◆補足：量で言うと、おおよそ a couple of < a few < several < many の順になります。

---

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「メートル」です。「meter」はメートル法の長さの主要単位で、100 センチメートルに相当します。ほとんどの国で長さの標準単位です。①「会う」は動詞の meet、③「肉」は meat、④「問題」は matter です。

◆補足：イギリス英語でのスペルは metre です。1000 メートルは kilometer です。

---

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「A に B について話す」です。「tell」は「話す、伝える」という意味の動詞で、「tell A about B」の形で「A（人）に B（物事）について話して聞かせる」という意味になります。例えば、「Please tell me about your trip.」（あなたの旅行について私に話してください）のように使います。①「A に B を尋ねる」は ask A about B、②「A と B について話す」は talk with A about B、③「A に B を教える」は teach A B が近い表現です。

◆補足：「tell」は「tell A to do」（A に～するように言う）や「tell A B」（A に B を教える・伝える）など、様々な形で使われる重要な動詞です。過去形は told です。

---

17.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④の **in the middle of** で、「～の真ん中に、～の最中に」という意味です。場所的な中央だけでなく、時間的な「真っ最中」を表すこともできる便利な表現です。**There is a beautiful fountain in the middle of the park.** (公園の真ん中に美しい噴水がある)。**He is in the middle of an important meeting.** (彼は重要な会議の最中です)。①は「～の前に」、②は「～にもかかわらず」、③は「～の代わり」

◆補足：middle は「中央、真ん中」を意味する名詞です。middle school (中学校) や the Middle East (中東) のように、他の単語と組み合わさって使われることも多いです。

---

18.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「建物、ビル」です。「**building**」は、家、学校、オフィスビルなど、屋根と壁のある構造物全般を指します。「**That's a very tall building.**」(あれはとても高いビルですね。) ①「橋」は **bridge**、②「庭」は **garden**、④「地下室」は **basement** です。

◆補足：動詞の **build** (建てる) に **-ing** がついて名詞になった形です。「建築中」は **under construction** と言いますが、**a building under construction** (建設中の建物) のように言うこともできます。

---

19.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②「英雄、主人公」です。「**hero**」は、勇気、卓越した業績、または高貴な資質で称賛される人です。また、物語の男性の主人公を指すこともあります。①「ここに」は **here**、③「聞く」は動詞の **hear**、④「彼女の」は **her** です。

◆補足：ヒーローの女性版は **heroine** (ヒロイン) です。形容詞は **heroic** (英雄的な) です。

---

20.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「**be proud of**」です。この表現は、自分自身または他の誰かの業績や良い資質のために、深い喜びや満足感を感じることを表します。例えば、「**I am proud of my son.**」(私は息子を誇りに思いま

す)。①「be afraid of」は～を恐れる、②「be tired of」は～に飽きている、④「be fond of」は～が好きである、という意味です。

◆補足：名詞形は **pride** です。「He takes great pride in his work.」(彼は自分の仕事に大きな誇りを持っている)。

---

21.

**解答** ①

【解説】

正解は①「**block**」です。主にアメリカ英語で、都市の通りに囲まれた「一区画」を指す言葉として使われます。「Go straight for two blocks.」(2 ブロックまっすぐ進んでください)のように、道案内で距離を示す単位としてよく使われます。②「**corner**」は「角、曲がり角」、④「**street**」は「通り」を意味します。

◆補足：日本語の「ブロック」と同じように、「積み木」や「かたまり」という意味でも使われます。また、動詞として「～を妨害する、ふさぐ」という意味もあります。

---

22.

**解答** ③

【解説】

正解は③「正午、真昼」です。「noon」は、昼の 12 時、つまり「正午」を指す言葉です。「Let's meet at noon.」(正午に会いましょう。) ①「真夜中」は **midnight**、②「朝」は **morning**、④「夕方」は **evening** です。

◆補足：「午前」を意味する **a.m.** は **ante meridiem**、「午後」を意味する **p.m.** は **post meridiem** の略で、ラテン語でそれぞれ「正午の前」「正午の後」という意味です。**meridiem** が正午を指しているんですね。「午後」を意味する **afternoon** も、**after** (後) と **noon** (正午) が組み合わさってできています。

---

23.

**解答** ③

【解説】

正解は③「**even**」です。この副詞は、驚くべきことや予想しないことを強調するために使われます。例えば、「Even a child can understand it.」(子どもでさえそれを理解できる)。①「**ever**」は今までに、またはかつて、②「**also**」は～もまた、④「**only**」は～だけ、という意味です。

◆補足：**even though** は「～にもかかわらず」という意味の接続詞です。例：「Even though it was raining, we went out.」(雨が降っていたにもかかわらず、私たちは外出した)。

---

24.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「over there」です。「there」だけでも「あそこに」という意味ですが、「over」をつけることで、少し距離が離れている感じや、「向こう側に」というニュアンスを強調することができます。「The restroom is over there.」（お手洗いはあちらです）のように使います。①「around here」は「この辺りに」、②「up there」は「あの上の方に」、④「out there」は「あそこの外に」といった意味合いになります。

◆補足：近くを指すときは「here」（ここ）、すぐそこなら「right here」（すぐここ）、向こうなら「over there」と使い分けると、距離感をうまく表現できます。

---

25.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「同時に」です。この表現は、二つ以上のことが正確に同じ瞬間に起こることを意味します。「They both started laughing at the same time.」（彼らは二人同時に笑い出しました）。②「時々」は sometimes、③「しばらくの間」は for a while、④「間に合って」は in time です。

◆補足：「at the same time」は「しかしながら」や「でも」のように、対照的な考えを導入する際にも使われます。例：「I want to go, but at the same time, I'm a little nervous.」（行きたいけれど、でも同時に、少し緊張もしています）。

---

26.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「rich」です。多くのお金や価値ある財産を持っていることを意味します。例えば、「He dreams of becoming a rich man.」（彼はお金持ちになることを夢見ている）。②「reach」は～に着くという動詞、③「each」はそれぞれの、④「poor」は貧しいを意味し、rich の反対語です。

◆補足：rich は、脂肪、バター、砂糖が多い食べ物（「a rich cake」）や、色が強くて深い（「rich colors」）を表すのにも使われます。

---

27.

**解答** ②

【解説】

正解は②「become」です。何かになり始めることを意味します。何かに変わる過程や変化を表すのに使われます。例えば、「He studied hard and became a doctor.」（彼は一生懸命勉強して医者になった）。①「because」はなぜならという意味の接続詞、③「belong」は何かのメンバーであること、④「behave」は特定の振る舞いをすることを意味します。

◆補足：過去形は became、過去分詞形は become です。A-B-A のパターンに従います。

---

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「rain」です。「雨が降る」という意味の動詞です。天気を表す文では、主語に It を使うのが決まりです。「It started to rain.」（雨が降り始めた。）②「snow」は「雪が降る」、③「shine」は「輝く」、④「flow」は「流れる」という意味です。

◆補足：rain は名詞として「雨」そのものを指すこともできます。例：I like the sound of the rain.（私は雨の音が好きです。）形容詞の rainy（雨の）もよく使いますね。

---

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「目標、ゴール」です。goal は、達成しようと努力する具体的な「目標」や、サッカーなどのスポーツで得点となる「ゴール」を指します。What is your goal for this year?（あなたの今年の目標は何ですか？）のように尋ねることができます。②「夢」は dream ですが、goal は dream よりも具体的に達成可能な目標というニュアンスがあります。③「計画」は plan、④「規則」は rule が適切な単語です。

◆補足：スポーツで「ゴールを決める」ことは score a goal と表現します。また、目標について話するとき、「目標を立てる」は set a goal、「目標を達成する」は achieve a goal や reach a goal という動詞と一緒に使われることが多いです。

---

30.

解答 ④

【解説】

正解は④「strange」です。「奇妙な、普通ではない、見慣れない」といった意味を表す形容詞です。「I heard a strange noise last night.」（昨夜、奇妙な物音を聞きました。）①「strong」は「強い」、②「straight」は「まっすぐな」、③「strict」は「厳しい」という意味です。スペルが似ているので、しっかり区別しましょう。

◆補足：「見知らぬ人」のことを a stranger と言います。これは strange から派生した単語ですね。

---

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「学年」です。「grade」は、学校の「学年」を表す言葉として、特にアメリカ英語でよく使われます。問題文は「私は8年生です」（日本の中学2年生にあたります）という意味です。②「授業」は class、③「運動場」は ground、④「卒業」は graduation です。

◆補足：grade には、テストなどの「成績、評定」（A, B, C など）という意味もあります。「I got a good grade in English.」（私は英語で良い成績をとった。）文脈によって「学年」か「成績」かを見分けてみましょう。

---

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の方へ」です。「toward」は、ある方向に向かって進むことを示す前置詞です。「She was walking toward the station.」（彼女は駅の方へ歩いていた。）to と似ていますが、to が目的地への到着を含むのに対し、toward は単にそちらの「方向へ」という動きを表します。

◆補足：イギリス英語では towards と最後に s がつくことが多いですが、意味は同じです。

---

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「last time」です。「last」（この前の）と「time」（時）が組み合わさって、「この前の時」、つまり「前回」という意味になります。「I had a lot of fun last time.」（前回はとても楽しかったです。）

①「next time」は「次回、今度」、②「some time」は「いつか」、③「long time」は「長い間」という意味です。

◆補足：the last time の形で、「最後に～した時」と、より強調して言うこともできます。

---

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「汚い」です。dirty は、泥やほこり、食べこぼしなどで汚れている状態を表す形容詞です。

Please wash your dirty hands before dinner. (夕食の前に汚れた手を洗いなさい) のように使います。

②「きれいな」は clean で、dirty の正反対の言葉です。③「暗い」は dark、④「乾いた」は dry がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：dirty は、名詞の dirt (泥、汚れ) から作られた形容詞です。dirt に -y が付いて dirty になっています。比較級は dirtier、最上級は dirtiest と、y を i に変えて -er, -est を付ける形です。

---

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「病気の、気分の悪い」です。「sick」は、体調が悪いことを表す形容詞です。アメリカ英語では「病気」を意味する一般的な言葉です。例えば、「I was sick yesterday.」(私は昨日、病気でした)。また、特に「吐き気がする」という意味でも使われます。他の選択肢は発音が似ていますが、意味は異なります。

◆補足：イギリス英語では、一般的な病気には ill がよく使われ、sick は吐き気を催す感じを指すことが多いですが、この区別は必ずしも厳密ではありません。

---

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「successful」です。success の形容詞形で、多くのことを達成した、または人気が出たり裕福になったりしたことを意味します。例えば、「She is a successful business person.」(彼女は成功した実業家だ)。①「successive」は連続する、②「stressful」はストレスの多い、③「powerful」は力強い、という意味です。

◆補足：動詞は succeed (成功する)、名詞は success (成功) です。succeed (v), success (n), successful (adj) の家族全員を覚えておきましょう。

---

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「詩」です。「poem」は、言葉がその美しさや響きのために選ばれ、しばしば韻を踏む短い行で慎重に配置された文章の一片です。①「問題」は problem、②「池」は pond、④「指さす」は動詞の point です。

◆補足：詩を書く人は poet (詩人) です。詩作の芸術は poetry (詩) です。

---

38.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「next to」です。「～の隣に」という意味で、すぐ真横にある位置を表します。「The library is next to the city hall.」（図書館は市役所の隣にあります）のように使います。①「near to」は「～の近くに」という意味で、隣接しているとは限りません。②「in front of」は「～の前に」、④「across from」は通りなどを挟んだ「～の向かいに」という意味です。

◆補足：next は「次の」という意味の形容詞ですが、to がつくことで場所を表す前置詞句になります。by や beside も「～のそばに」という意味で使われます。

---

39.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④sound です。この動詞は、人から話を聞いたり、物音を聞いたりして、「～のように聞こえる、～そうだ」と感想を言うときに使います。sound + 形容詞の形で使われることが多いです。That sounds interesting.（それは面白そうですね）。①say は「～と言う」、②sing は「歌う」、③sit は「座る」という意味です。

◆補足：sound は名詞としては「音」という意味です。a loud sound（大きな音）のように使います。動詞の sound は、look（～のように見える）や smell（～の匂いがする）などと同じ、五感に関する動詞の一つとして覚えておくと便利です。

---

40.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「～する時間がある」です。「have time」で「時間がある」、「to do」で「～するための」となり、合わせて「～するための時間がある」という意味になります。「Do you have time to help me?」（私を手伝う時間がありますか？）のように使います。②「～する時間がない」は I have no time to do や I don't have time to do、③「～する時だ」は It's time to do、④「～するのに時間がかかる」は It takes time to do です。

◆補足：time の前に enough（十分な）や a lot of（たくさんの）をつけて、「I have enough time to do」（～するのに十分な時間がある）のように、時間の量を表現することもできます。

---

41.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「buy A for B」です。「buy」は「買う」という意味の動詞で、「A（物）をB（人）のために買う」と言うときは、前置詞 for を使ってこの形になります。これは、「buy B A」（B に A を買ってあげる）という形に書き換えることもできます。例：「I'll buy you a present.」②は「あげる」、③は「見せる」、④は「貸す」という動詞を使っています。

◆補足：make A for B（B のために A を作る）、cook A for B（B のために A を料理する）など、for を使う動詞は他にもあります。これらは「～してあげる」という、相手のための行為を表す動詞が多いのが特徴です。

---

42.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「～すべきだ、～した方がよい」です。助動詞「should」は、義務やアドバイス、提案などを表すときに使います。「You should eat more vegetables.」（あなたはもっと野菜を食べるべきです）のように、相手に何かを勧めるときによく使われます。④の「must」（～しなければならない）ほど強い強制力はありません。②「～できる」は can、③「～かもしれない」は may が使われます。

◆補足：否定形の「should not」（短縮形は shouldn't）は、「～すべきではない」という意味になります。例：You shouldn't stay up late.（夜更かしはすべきではありませんよ。）

---

43.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「昼食の時間」です。「lunch」（昼食）と「time」（時間）がくっついてできた単語で、お昼ご飯を食べる時間帯を指します。「It's almost lunchtime. I'm hungry.」（もうすぐお昼の時間だ。お腹がすいた。）①「朝食の時間」は breakfast time、②「夕食の時間」は dinnertime、③「休憩時間」は break time と言います。

◆補足：lunch break で「お昼休み」という意味になります。lunchtime が食事の時間そのものを指すのに対し、lunch break は仕事や学校の間の休憩時間というニュアンスが強いです。

---

44.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～の仕方、どのように～すべきか」です。「**how to + 動詞の原形**」の形で、名詞と同じ働きをするかたまり（名詞句）を作ります。「～する方法」や「どうやって～したらよいか」という意味を表します。問題文は「あなたはこのコンピュータの使い方を知っていますか？」という意味になります。②「なぜ～すべきか」なら **why to do**（ただしあまり使われない）、③「どこで～すべきか」なら **where to do** を使います。

◆補足：how 以外の疑問詞も **to do** と結びついて名詞句を作ることができます。what to do（何をすべきか）、when to do（いつすべきか）、where to do（どこですべきか）など、セットで覚えておくともとても便利です。

---

45.

**解答** ③**【解説】**

正解は③「～について（じっくり）考える」です。「**think about ～**」は、ある事柄について注意深く、時間をかけて「考える」というニュアンスを表します。「**I need some time to think about your offer.**」（あなたの提案について考える時間が必要です。）①「～を思いつく」は **think of**、②「～について話す」は **talk about**、④「～について心配する」は **worry about** を使います。

◆補足：**think of** も「～について考える」と訳せますが、こちらはパツと思いついたり、意見を述べたりする場合に使われることが多いです。**think about** は、より深く検討するイメージです。

---

46.

**解答** ③**【解説】**

正解は③「～を支配する、管理する、制御する」です。**control** は、機械を「操作・制御する」、会社や国などを「支配・管理する」、自分の感情を「抑える」など、幅広い対象を自分の思い通りに動かすことを意味します。**A pilot controls an airplane.**（パイロットは飛行機を操縦する）のように使います。

①は **create**、②は **compare**、④は **collect** が適切な単語です。

◆補足：**control** は名詞としても使われ、「制御、支配」という意味になります。テレビやエアコンの「リモコン」は **remote controller** や **remote control** と言いますが、これは **remote**（遠隔の）場所から **control**（制御）するもの、という意味から来ています。

---

47.

**解答** ①

【解説】

正解は①「10 億」(1,000,000,000) です。billion は million (100 万) の 1,000 倍の数を表す単位です。世界の人口など、非常に大きな数を話題にする際によく使われます。他の選択肢は、②「1000」が thousand、③「100 万」が million、④「1 兆」が trillion となります。

◆補足：英語の大きな数の数え方は、thousand(千)→million(百万)→billion(十億)→trillion(兆)と、1,000 倍ごとに単位が変わっていきます。数字のコンマ (,) が 3 桁ごとにあるのに対応していると考えると覚えやすいですよ。

---

48.

解答 ②

【解説】

正解は②の cafeteria で、「(セルフサービスの) 食堂」を意味します。学校、会社、病院などにある、利用者が自分で食事をトレイに取って運ぶ形式の食堂を指します。I often eat lunch at the school cafeteria. (私はたいてい学生食堂で昼食をとります) のように使います。①kitchen は「台所」、③restaurant は店員が注文を取りに来てくれる「レストラン」、④café は「喫茶店」です。

◆補足：cafeteria と café は似ていますが、cafeteria は主に食事をする場所、café は主にお茶やコーヒーを楽しむ場所、という違いがあります。

---

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に沿って」です。前置詞「along」は、川や道のような長いものの隣を線状に動くことを意味します。例えば、「We walked along the river.」(私たちは川に沿って歩いた)。②「～を横切って」は across、③「～の周りに」は around、④「～なしで」は without です。

◆補足：come along という表現は「一緒に行く」を意味します。例：「We're going to the movies. Do you want to come along?」(映画に行くんだ。一緒に行く?)。

---

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「今年の、その年の」です。「of the year」は、名詞の後ろについて「その年で一番の～」という特別な意味を表すときに使われます。the player of the year で「最優秀選手」、the song of the year で「年間最優秀楽曲」となります。問題文は「これは今年の映画(年間最高傑作)です」というニュアンスになります。

◆補足：この of は「～に属する」という所有や所属を表す前置詞です。the end of the year で「年末」という意味にもなります。

---